

Memorial Stones and Promises
『記念の石と約束』

聖書箇所:ヨシュア記 4章1-7節

Sporting glory. I like to sit on my deck with a Coke and dream about it.

私は、昔はスポーツマンで、よくたくさんのメダルや賞をもらったものです。私は、自宅のバルコニーでコーラを飲みながら、昔、自分がスポーツをしていた頃の栄光を思い出すことが好きなのです。

Joshua 4:1-7:

When the whole nation had finished crossing the Jordan, the Lord said to Joshua, 2 “Choose twelve men from among the people, one from each tribe, 3 and tell them to take up twelve stones from the middle of the Jordan, from right where the priests are standing, and carry them over with you and put them down at the place where you stay tonight.”

4 So Joshua called together the twelve men he had appointed from the Israelites, one from each tribe, 5 and said to them, “Go over before the ark of the Lord your God into the middle of the Jordan. Each of you is to take up a stone on his shoulder, according to the number of the tribes of the Israelites, 6 to serve as a sign among you. In the future, when your children ask you, ‘What do these stones mean?’ 7 tell them that the flow of the Jordan was cut off before the ark of the covenant of the Lord. When it crossed the Jordan, the waters of the Jordan were cut off. These stones are to be a memorial to the people of Israel forever.”

本日の聖書箇所は、ヨシュア記 4章1-7節です。お読みします。

ヨシュア記 4章1-7節—1民がすべてヨルダン川を渡り終わったとき、主はヨシュアに言われた。2「民の中から部族ごとに一人ずつ、計十二人を選び出し、3彼らに命じて、ヨルダン川の真ん中の、祭司たちが足を置いた場所から、石を十二個拾わせ、それを携えて行き、今夜野営する場所に据えさせなさい。」4ヨシュアはイスラエルの各部族から一人ずつ、かねて決めておいた十二人を呼び寄せて、5言った。「ヨルダン川の真ん中の、あなたたちの神、主の箱の前に行き、イスラエルの人々の部族の数に合わせて、石を一つずつ肩に担いで来い。6それはあなたたちの間でしるしとなるであろう。後日、あなたたちの子供が、これらの石は何を意味するのですかと尋ねるときには、7こう答えなさい。『ヨルダン川の流れは、主の契約の箱の前でせき止められた。箱がヨルダン川を渡るとき、ヨルダン川の流れはせき止められた。これらの石は、永久にイスラエルの人々の記念となる』と。

After the Israelites crossed the Jordan they were instructed to set up memorial stones. Why? So in the future they could sit around and recall the good ol' days?

イスラエルの民は、ヨルダン川を渡った後、記念の石を立てるように命じられました。なぜでしょうか？それは、将来、彼らがいつか、古き良き時代を思い出して語り継ぐ事ができるようにするためだったのでしょうか？

No. It was to remember what God had done.

Again, why? Why was it so important for them to remember what God had done in the past?

So the Israelites could live in the past?

No. It was so they could have certainty about their future.

いいえ違います。それは、神様がなさったことを彼らが思い出すためだったのです。

もう一度、皆さんにお聞きしたいと思います。なぜ、神様はイスラエルの民に石を積むようにと命じたのでしょうか？なぜ、神様が過去になさったことを思い出すことが、そんなに重要だったのでしょうか？

それは、イスラエル人が過去の思い出を忘れずに生きるようにするためでしょうか？

いいえ、違います。それは、イスラエルの民が、自分たちの未来に確信を持って生きるためだったのです。

I'm 57, unfit and have a pot belly. My sporting glory has faded and it's never coming back. That's why I dream about it.

God lives: the same yesterday, today and tomorrow. His glory never fades and it always lies before us. This is good to know.

ここでまた、私自身のお話を少しさせてください。私はもう57歳で、体力もなく、お腹もポッコリ出ています。私がスポーツをしていた頃の過去の栄光は色あせてしまっていて、その栄光はもう二度と戻ってはきません。だからこそ、私は夢を見るのが好きなのです。

しかし、神の栄光は違います。神は生きておられます。昨日も今日も明日も、同じく、生きておられるのです。神の栄光は決して色あせることなく、常に私たちの前に横たわっているのです。このことは是非、知っておいて欲しいと思います。

I don't know about you but sometimes I have doubts about what God is doing in my life.

Sometimes I have concerns about the way things are turning out. There's plenty to be anxious about!.

皆さんはどうかわかりませんが、私は時々、神様が私の人生に何をなさっているのか疑問に思うことがあります。物事が本当にうまくいっているのか心配になることもあります。もちろん、不安になることはたくさんあります。

I was praying about this recently and I felt God say something to me very clearly.

"Never forget what I have done for you. Set up a memorial stone so you will always remember what I have done for you."

So I wrote a book. (That's what I do.) It's called "Christian, Interrupted. How the life of an ordinary Christian was interrupted by extraordinary grace." It's a record of some of the astounding things, that God has done in my life. It's a beautiful book. Not for sale! It's private. (But some of you are in it!) It's my memorial stone to God. I take it out from time to time to remember what God has done, not just in world history but in *my* history.

私は最近、あることについて祈っていたのですが、神様がはっきりと私に何かを言っているのを感じたのです。それは、次のような神の声でした。

『私があなたにしてあげたことを決して忘れるな。私があなたにしたことを忘れないように、記念の石を立てなさい。』

神が私にそういうので、記念の石として、私は本を書きました。実は、私は本を書くことが大好きなのです。その本は、「クリスチャン、インターラプテッド」というタイトルでした。私はその本の中で、私たちの人生や、平凡な私たちクリスチャンが、『素晴らしい』神の恵みによって、いかに、びっくりさせられたり、驚かされているか、ということについて書きたかったのです。それは、私の人生の中で、神がなさった『驚くべき』ことの記録なのです。美しい内容の本だと自負しています。しかし、その本は非売品で、とても個人的なものです。その本は、私の神への記念碑であり、世界の歴史ではなく、私個人の歴史において神がなさったことを思い出すために、ときどき取り出しては読み返しています。

And like with the Israelites, it's not simply a reminder about what God has done but a reminder of what God can and will do. It's a reminder that God is a God of **promises**. He cannot lie. His promises are always fulfilled.

その私の記念碑である本は、単に神がなさったことを思い起こさせるものではなく、イスラエルの民のように、神ができること、そしてこれから神がなさることを思い起こさせるものなのです。それは、神が約束の神であることを思い起こさせるものなのです。神は嘘をつきません。神の約束は常に実現されるのです。

We've been looking back at memorial stones this morning because now we are looking forward towards God's promises. There are over 3000 promises that God has made to us in the Bible. Today we're going to look at 5 key promises.

私が、記念の石のことを今まで振り返ってお話ししているのは、今でも私たちは、神様の約束を楽しみに待ち望んでいるからなのです。聖書には、神様が私たちに約束されたことが3000以上あります。今日は、『神様の5つの重要な約束』を見ていきましょう。

Before we do, a couple of preliminary things.

その前に、いくつか神様の約束についての予備知識としてお話しさせてください。まず、『神様の約束とは、あなたがどう感じるかに左右されるものではありません。』

i. God's promises don't depend on how you feel.

i. 神様の約束とは、あなたがどう感じるかに左右されるものではありません。

When things are tough, God's promises might seem far from you. When you are sick, broke, hate your job, dealing with a relationship breakdown, lonely, dealing with an addiction, exhausted - God's promises might seem like they don't apply to you. That's when you need to declare God's promises.

それはどういうことかという、あなたが困難な状況にあるとき、神の約束は自分から遠く離れているように思えるかもしれません。病気、破産、仕事がいやだ、人間関係がうまくいかない、孤独、依存症、疲れ果てている、そんな時、神の約束は自分には果たされていないように思えるかもしれません。しかし、そんな時こそあなたは、神の約束のことははっきりと自分に言い聞かせる必要があるのです。

And God's promises are not just for when you're in the doldrums. Things might be going okay, and you might be feeling a little indifference, a little luke warmness. That's when you need to declare God's promises.

そしてまた、神様の約束は、あなたが落ち込んでいる時だけのものではありません。時には、物事が万事うまくいっていて、少し人生が平凡に感じたり、少し退屈に感じることもあるかもしれません。そんな時こそ、あなたは神の約束をはっきりと自分に言い聞かせる必要があるのです。

God's promises are also for when things are going great. People tend to have one of two reactions to God when things are going great. They either acknowledge God's hand in their success and praise Him; or feel they no longer need God and start doing things their own way. Either way, that's when you need to declare God's promises.

また、神様の約束は、物事がうまくいっているときのためのものでもあります。物事がうまくいっているとき、人は神に対して、次の2つのどちらかの反応をする傾向があります。一つは、『自分の成功は神が与えてくれたと認め、神を賛美するという反応』。あるいは、『成功したので、もはや神は必要ないと感じ、自分のやり方で物事を進め始めるという反応』のどちらかです。いずれにせよ、そのような時こそ、神の約束をはっきりと自分に言い聞かせる必要があるのです。

ii. God's promises don't depend on the size of your faith. You don't have to be mighty to receive God's promises. You just have to turn up.

All Abraham did to receive the promise was believe.

All the sick woman did to be healed was just touch the hem of Jesus' clothes.

All the disciples did to calm the storm was just wake Jesus up.

次に、二つ目の神様の約束についての予備知識は、『神様の約束は、あなたの信仰の深さには関係ありません。神様の約束を受け取るために、あなたが強固な信仰をもつ必要はありません。ただ、神の御前にいるだけで良いのです。』

ii. 神様の約束は、あなたの信仰の深さには関係ありません。神様の約束を受け取るために、あなたが強固な信仰をもつ必要はありません。ただ、神の御前にいるだけで良いのです。

思い出してください。

アブラハムが約束を受け取るためにしたことは、ただ信じただけです。

病気の女が、癒されるためにしたことは、ただイエス様の服の裾に触れただけです。

弟子たちが嵐を静めるためにしたことは、ただイエス様を眠りから起こしただけです。

iii. God's promises don't depend on your age

You can never be too young or too old to declare and receive the promises of God. Samuel was just a little boy. Moses and the apostle John was very old. God saw their hearts, not their ages.

The promises of God are for everyone.

また三つ目の、神様の約束についての予備知識は、『神様の約束は、あなたの年齢には関係ない』ということです。

iii. 神様の約束は、あなたの年齢には関係ないのです

神様の約束を確信し受け取るのに、若すぎたり、年を取りすぎているということは決してありません。思い出してください。サムエルは、まだ幼い少年でしたし、モーセや使徒ヨハネはとても年をとっていました。神は彼らの年齢ではなく、心を見ておられたのです。このように、神の約束は、すべての人々のためにあるのです。

Let's have a look at 5 of God's key promises. And let's declare them in our lives.

では、以上、三つの予備知識を踏まえて、これから、『神様の重要な5つの約束』を見てみましょう。そして、私たちの人生に当てはめて、しっかりと自分にそれらの約束を言い聞かせていきましょう。

Key promises

次の五つが、神の主な約束事です。

1. **I am with you.** A sense of inadequacy can be hard. Yet Jesus' very name 'Immanuel' means that God is with us. We don't have to struggle on alone. Jesus Himself declared this in Matthew 28 (the very last sentence in Matthew) talking about living out our lives: "Surely I am with you always, to the very end of the age."

一つ目の、神の重要な約束は、神は『あなたと共にいる』ということです。

1. あなたと共にいる

自分が不十分であると感じるのは、つらいものです。しかし、イエスの『インマヌエル』という名前そのものが、『神が私たちとともにおられる』ということを意味しています。私たちは一人で、もがき患う必要はないのです。イエス様ご自身が、マタイ書の一番最後の文章、マタイによる福音書28章で、私たちに『わたしは、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいる。』と、はっきりと言っておられます。

Whenever you feel inadequate, incapable, alone, remember the promise: God is with you.

ですから、あなたが、自分は不十分だと感じたり、無力になったり、孤独を感じるときはいつでも、「神はあなたとともにいる」という約束を思い出してください。

2. **I'm listening.** The sense of being alone and unheard can be tormenting. Anyone who has spent time in isolation will know this. That's why the psalmist declares the promise in Psalm 5:3: "O Lord, in the morning you hear my voice"

1 John 5:15 - "And if we know that he hears us—whatever we ask—we know that we have what we asked of him."

二つ目の、神の重要な約束は、神は『聞いている』ということです。

2. 聞いている

ひとりぼっちで誰からも話を聞いてもらえないという感覚は、私たちの心を苦しめます。孤独の中で時を過ごしたことがある人なら、その意味がお分かりになるでしょう。だからこそ、詩篇の作者は詩篇5篇3節で『わたしの王、わたしの神よ。助けを求めて叫ぶ声を聞いてください。あなたに向かって祈ります。』と言っているのです。

1 John 5:15 - "And if we know that he hears us—whatever we ask—we know that we have what we asked of him."

また、ヨハネの手紙第一5章では、神が聞いていることについて次のように書いています。

ヨハネの手紙第一 5章15節— 15わたしたちは、願い事は何でも聞き入れてくださるということが分かるなら、神に願ったことは既になえられていることも分かります。

Remember the promise: whenever you call, God is listening.
ですから、あなたが呼びかければ、いつでも神様は聞いてくださるという約束を忘れないでください。

3. **I forgive you.** The burden of sin can be heavy, and withheld or insufficient confession can be crushing. David knew this. He said, “My sin is always before me.” (Psalm 51). But we have the promise of forgiveness in Christ, “If we confess our sins, he is faithful and just to forgive us our sins and to cleanse us from all unrighteousness.” 1 John 1:9

三つ目の、神の重要な約束は、神は『あなたを許してくれる』ということです。

2. あなたを許してくれる

罪の重荷(おもに)は重いものです。あなたが、まだ告白ができていなかったり、告白が十分にできていなければ、押しつぶされそうになることがあります。ダビデはそのことを知っていました。詩篇51篇で、ダビデは「わたしの罪は常にわたしの前に置かれています。」と言いました。しかし、私たちには、キリストにより赦されるという約束があります。

第一ヨハネ1章9節には『自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。』と書かれています。

Remember the promise: There is no condemnation on those who are in Christ. You have been forgiven.

『従って、キリストに結ばれている者は、罪に定められることはありません。』という約束を忘れないでください。あなたは赦されているのです。

4. I will provide for you. God isn't short of cash or compassion.

Phil 4:19 “My God will meet all your needs according to the riches of his glory in Christ Jesus.” Mat 6:26 “Look at the birds of the air; they do not sow or reap or store away in barns, and yet your heavenly Father feeds them. Are you not much more valuable than they?”

四つ目の、神の重要な約束は、神は『あなたを備えてくれる』ということです。

4. あなたを備えてくれる

神は、お金や同情に事欠くことはありません。

フィリピン人への手紙 4章19節には、『わたしの神は、御自分の栄光の富に応じて、キリスト・イエスによって、あなたがたに必要なものをすべて満たして下さいます。』と書かれていますし、マタイによる福音書 6章26節には、『空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。』と、神が私たちに備えてくださることについて書かれています。

Remember the promise: God will provide everything you need.
ですから、神様は、私たちに必要なものは、すべて与えてくださるという約束を忘れないでください。

5.I have secured eternity for you. The greatest promise of all. John 3:16 “God so loved the world that he gave his one and only Son, that whoever believes in him shall not perish but have eternal life.” There is only one way to secure eternity. There is only one mediator between mankind and God. There is only one name under heaven by which people can be saved. There is only one way, but it is certain. Remember the promise.

五つ目の、神の重要な約束は、神は『あなたに永遠の命をくれる』ということです。

5. あなたに永遠の命をくれる

最も偉大な約束が、ヨハネによる福音書 3章16節 に書かれています。『神は、その独り子をお与えになつたほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。』という約束です。永遠を得る方法はただ一つなのです。

そしてまた、人類と神との間の仲介者も、ただ一人です。人々が救われるために、天から与えられた名前もただ一つです。道は一つしかありません。そして、それは確かな道なのです。この約束を、どうぞ覚えておいてください。

I'd like to give you some homework. I'd like you to prayerfully, carefully set up a 'memorial stone' so that you will never forget what God has done for you. It might be a picture, or a piece of writing, or a piece of music, or a piece of craftwork. It could actually be a memorial stone! It could be anything. Do this so you will always remember God's goodness in your life.

最後に、皆さんに、今日お家に帰った時の宿題を出したいと思います。神様が今まで、あなたにしてくださったことを決して忘れないように、祈りながら丁寧に「記念の石」を置いてほしいのです。絵でもいいですし、文章でもいいですし、音楽でもいいですし、工芸品を作っても構いません。そうすれば、実際に、形を持った記念の石になるかもしれません。何でもいいのです。あなたの人生における神様のすばらしさを、いつも思い出すことができるように、「記念の石」をおいてください。

And I'd like you to practice meditating on His promises. This second one we're going to do now
This is how we will close the sermon.

そして、主の約束について思い巡らし、黙想してください。この二つの宿題をもって、今日のお話を締め括らせていただきたいと思います。

Pray.